

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公表番号】特表 2019-504860 (P2019-504860A)

【公表日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2018-542709 (P2018-542709)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2019.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/501 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/517

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/501

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 K 31/282

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトにおいて血管新生に関連した少なくとも 1 つの病態を治療する方法における使用のための、セジラニブを含む組成物であって、

固定間欠投与計画に準じた少なくとも 2 回の投与サイクルで、前記組成物が投与され、前記固定間欠投与計画が、サイクルの少なくとも連続 2 日間における有効量の前記組成物の投与、次いで、サイクルの少なくとも連続 2 日間において前記組成物が投与されないことを含み、

血管新生に関連した前記少なくとも 1 つの病態が、肺がん；消化器および胃腸がん；食道がん；胆嚢がん；肝がん；膵がん；虫垂がん；乳がん；卵巣がん；腎がん；中枢神経系

のがん；皮膚がん；リンパ腫；神経膠芽腫；絨毛がん；胞状軟部肉腫；頭頸部がん；骨原性肉腫；および血液がんから選択される、組成物。

【請求項 2】

血管新生に関連した前記少なくとも 1 つの病態が、プラチナ感受性再発卵巢がんから選択される、請求項 1 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 3】

前記プラチナ感受性再発卵巢がんが、卵管がん、高グレード子宮内膜がん、および原発性腹膜がんから選択される、請求項 2 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 4】

固定間欠投与計画に準じた投与サイクルが 7 日からなり、

前記固定間欠投与計画は、サイクルの連続 2 ～ 5 日間で有効量の前記組成物が投与されることと、その後の連続 5 ～ 2 日間で前記組成物が投与されないこととを任意に含んでもよい、請求項 1 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 5】

組成物が、連続 5 日間投与され、その後の休止が 2 日である、請求項 4 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 6】

組成物が、連続 4 日間投与され、その後の休止が 3 日である、請求項 4 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、セジラニブの遊離塩基の重量で測定して、セジラニブを 30 mg または 20 mg の量で含む、請求項 1 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 8】

パートナー薬および他の治療薬から選択される少なくとも 1 つの他の成分を投与することをさらに含む、請求項 1 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 9】

前記パートナー薬が、DNA 損傷応答阻害剤、免疫チェックポイント阻害剤、腫瘍細胞標的化治療剤、および化学療法剤から選択される、請求項 8 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 10】

前記パートナー薬が、PARP 阻害剤から選択される、請求項 9 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 11】

前記 PARP 阻害剤が、オラパリブである、請求項 10 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 12】

前記パートナー薬が、免疫チェックポイント阻害剤から選択される、請求項 9 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 13】

前記免疫チェックポイント阻害剤が、MED14736（デュルバルマブ）である、請求項 12 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 14】

前記パートナー薬が、化学療法剤から選択される、請求項 9 に記載の 使用のための組成物。

【請求項 15】

前記化学療法剤が、プラチナに基づく化学療法剤、タキサンに基づく化学療法剤、およびイリノテカンから選択される、請求項 14 に記載の 使用のための組成物。